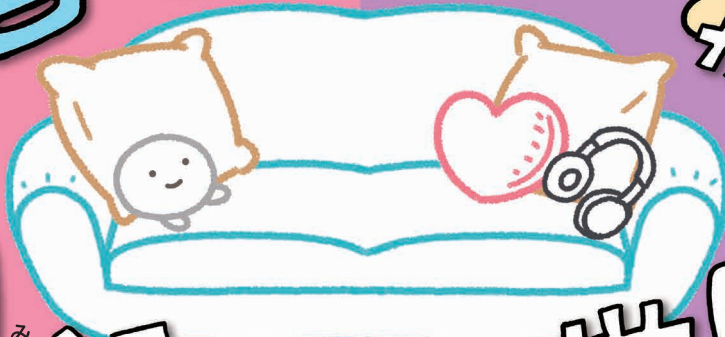


「いっくに居たい」と感じる場所があなたの本当の居場所です

居場所づくりから見える世界



経済的な理由で、十分な食事を食べられない子や、塾や習いごとをあきらめる子がいます

日本は豊かな国と言われていますが、さまざまな事情で社会とつながることができず「孤立」している人たちがいます。どんな問題を抱えているのでしょうか。少しだけ周りに目を向けて考えてみましょう。



場所、時間、人との関係性すべてにおいて、本人が居場所だと感じる事が大切です。家や学校のほか、塾や習いごと、近くの公園、オンラインゲームなども居場所になります。

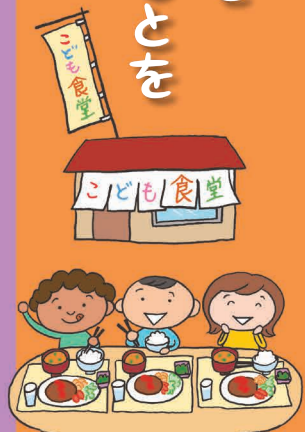


「地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)」にも相談窓口があります。

日本語がうまく話せず外国籍の子どもが孤立しています

「地域包括支援センター」があります。

親の介護や兄弟の世話をしています



「子ども食堂」や、放課後に安心して遊べて、勉強も教えてもらえる「放課後学習支援」という場所があります。

まとめ

居場所とは、ありのままの自分で安心していられる場所のことです。自分を認め大切に思うためにも、居場所はとても大切です。あなたの周りに困っている人や孤立を感じている人はいませんか？もし友だちの悩みに気づいたら手を差し伸べてあげましょう。



子どもの居場所 (子ども食堂・学習支援など)

地域包括支援センター

外国人相談窓口 (あーすぷらざ)

高校生の居場所カフェ

あーすぷらざ このかべ新聞はあーすぷらざのホームページからもダウンロードできます。